



小田小だより

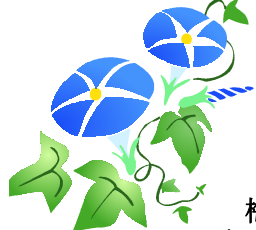
平成27年 7月号

〒236-0052 横浜市金沢区富岡西1丁目69番1号

TEL 045(775)3011

<http://www.local.edu.city.yokohama.jp/sch/es/koda/>

横浜市立小田小学校



夏休みと学ぶこと ～待ち遠しい梅雨明けに思いを寄せて～

学校長 木村 昭雄

梅雨明けが待ち遠しい毎日です。子どもたちは、梅雨の合間を縫って行われ
る水泳学習や前期前半の学習のまとめに頑張っています。梅雨が明けるころに
は夏休みが待っています。このような時期だからこそ、敢えて勉強の話をした
私には中学校的な経験が6年間あります。中学3年生の担任をしたときの話です。
1学期が終わり、成績票を手渡すとき、成績が振るわない生徒はいろいろな言い訳を
て理解を求めようとしてきました。「英語なんてできなくてもいい。日本人だから」「因数
分解なんて知らなくても生きていける」果ては「先生の教え方が悪い」「家には自分の部屋
がなく繰り返す。これは、教科科目の点数を上げることで目的ではない。友達と協力し合っ
り、生徒会活動や部活動で先輩や後輩と付き合ったりしていく上での人間関係づくりや先
生、や目上の人に対する言葉遣いなど、生きていく上での基礎的なノウハウを学ぶことも、勉強
ないよ！勉強するよ！」この『勉強』の意味は何だ？『儲けは少なくなると、勉強』と
いうんだ。それでは成績が上がるのは当然だ。勉強をする前からあきらめて
る！」

宮城教育大学の元学長だった林竹二先生は、「学んだことの証は、ただ一つ。何かが変わ
ることである」と述べて、「一片の知識が学習の成果であるならば、それは何も学ばないでし
まう」と切っています。

「昨日の自分より、今日は少し変わった。友達と言ひ合ひもせずに落ちて受け止める
ることのできる「図書室で見た本が面白かった」「給食は、栄養のことをこんなに考
えることのできるんだ」等、新たな自分気づいたり、新しい分野に目が向くようになり
す。加えて、それが勉強だ」と訴えかける。新しい自分を見出すために一歩踏み出す勇気をもつ
こ夏休みは、普段の勉強だか、なにかできない体験をしたり、いろいろなことに挑戦したりす
スです。保護者の皆様には、子どもたちと一緒に何かをしたり、地域の行事に参加したり、じっ
いと思ひます。例えば、家族と一緒に何かをしたり、地域の行事に参加したり、じっくり本
をなんこり得意なことを伸ばしたり、苦手を克服したりできる絶好の機会です。ぜひ、お
今夏は夏ですが、桜の話をしたしたいと思います。

桜は、春になつてはあきれません。冬のうちから、人知れず蕾をふくらませ始めています。その
に作られるかわけは、桜が花の芽を作るのは、前年の夏なそうです。つまり、桜は来年の
れどころか、実を咲かせるために、この夏から長い期間をかけて準備をし、少しずつ成長し、それ
よ小田小学校のようになると、新しい自分を見出すために一歩一歩踏み出しながら、自分らしい
の夢や目標に向かひ、新しい自分を発見する

花を咲かせたいと願っています。

体調や事故に気をつけて、8月27日には子どもたち全員が一段とたくましく元気な姿で
集うことを楽しみにしております。保護者の皆様、地域の皆様、どうぞよろしくお願いいた
します。